

「森林野生動物研究会誌」投稿規定

1. 森林野生動物研究会誌は毎年1号を発行し、広義の森林野生動物に関する原著論文、短報、総説、資料、紹介、書評、会記等を掲載する。
2. 会員は本誌に投稿することができる。共著の場合、共著者に非会員を含むことができるが、筆頭著者は会員に限る。ただし、編集委員会が依頼した場合はこの限りではない。
3. 共著の場合、原稿の内容を共著者全員が承知し投稿に合意していなければならない。
4. 投稿原稿は未発表のものとする。
5. 投稿者は最新の本誌に発表された原著論文、短報等の体裁に合わせた原稿を作成し、図表を含む原稿を電子ファイルとして、電子メールによって下記「原稿送付先」に送る。その際、投稿連絡票に必要事項を書き込んで添付する。投稿連絡票の書式は会誌巻末に掲載の書式に準じる。また、森林野生動物研究会のサイト (<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/~kamatan/wildlife/>) から電子ファイルをダウンロードすることもできる。
6. 原著論文、短報、総説には和文と英文の著者氏名、著者所属、表題、キーワード(7語句以内)をつける。和文の要約(400字以内)と英文のSummary(200語以内)もつける。ただし記載を主とする論文は、考察、要約、Summaryを省いてもよい。資料、紹介、書評には和文と英文の著者氏名、著者所属、表題をつける。英文Summaryはネイティブの校閲を受けるものとする。著者が独自に校閲を受けることが困難な場合は、編集委員会が専門の校閲者に依頼する。その際の校閲料は会が負担する。
7. 和文で初出の生物種名は和名と属名を略さない学名を併記するが、和名がない場合は学名のみでもよい。英文で初出の生物種名は属名を略さない学名で書くが、英名がある場合は併記してもよい。再出の生物種名は和名、英名、学名のいずれかとする。動物の学名の亜種名、命名者名、記載年は必要に応じ(分類学的な文脈か生態学的な文脈か等)付記しても省略してもよい。植物の学名表記は慣行に従い、必ずしも動物の学名と様式を一致させなくてもよい。同じ属の学名が複数回現れる場合は、混乱を生じない限り、別種の場合も含め原則として2回目以降を頭文字で略記する(例:ニホンイタチ *Mustela itatsi* およびオコジョ *M. erminea*)。ただし同じ頭文字の複数の属名が現れる場合は略さず完全な属名を書く(例:ニホンイタチ *Mustela itatsi*, オコジョ *Mustela erminea* およびテン *Martes melampus*)。
8. 原稿は縦長A4判(210mm×297mm)に横書きとする。1ページに40字×25行(1000字)とし、周囲には約3cmの余白をとる。各ページの下の余白にはページ番号を、左の余白には5行ごとに行番号を入れる。
9. 引用文献リストには本文中で引用した文献のみを収録し、それらを全て列記する。本文中で「ほか」または「et al.」と省略した人名も全て列記する。配列は著者名のABC順とする。第1著者名が同じ場合には、単独の著者名を西暦年順にはじめに置き、第2著者の著者名のABC順で後に続ける。全て同一著者の場合には西暦年順に置き、同一著者で同一年の場合には西暦年の後に小文字アルファベットを付けて区別する。著者が3名以上で第1著者名が同じで同一年の場合も西暦年の後に小文字アルファベットを付けて区別する。同一著者名の文献を2編以上続けて列記するときは、2度目以降も「—」で省略することなく、綴りを略さずに繰り返して書く。任意でDOIを付記してもよい。インターネット上の永続性が不確実な個人サイト等からの情報については、ほかに情報源がなくやむを得ない場合にのみ本文中に括弧書き等でURLと参照年月を示して引用し、引用文献リストには記載しない。ただし、オンライン公開されている以下のような著作物に関しては、本文中では著者名(またはこれに相当する機関・団体名等)、最終更新年(不明の場合は参照年月)を示して引用し、引用文献リストには著者名、最終更新年、

URL を記載する.

- ① オンラインジャーナル掲載の論文および早期公開されている論文
- ② オンライン出版された書籍・白書・報告書・その他の資料で冊子体が存在しないか冊子体の入手が難しいもの（冊子体配布が図書館や公共機関等に限られ一般向けにはオンライン公開のみである等）
- ③ データベース
- ④ ソフトウエア

オンラインジャーナルの論文には DOI を必ず付記する.

引用文献リストは次の形式を参考にしてつくる.

和文単行本

小野有五・五十嵐八枝子. 1991. 北海道の自然史—氷期の森林を旅する—. 北海道大学図書刊行会, 札幌. 219 pp.

和文単行本の章

北原英治. 2001. 鳥獣害の診断と防除. 最新・樹木医の手引き (財団法人日本緑化センター, 編), pp.293-307. 財団法人日本緑化センター, 東京.

和文原著論文

安藤正規・柴田叡弑. 2006. なぜシカは樹木を剥皮するのか? 日本森林学会誌 88 : 131-136.

英文単行本

Williamson, M. 1981. Island Population. Oxford University Press, Oxford, 286 pp.

英文単行本の章

Racey, P.A. and Entwistle, A.C. 2000. Lifehistory and reproductive strategies of bats. In (E.G. Crichton and P.H. Krutzsch, eds.) Reproductive Biology of Bats, pp.207-216. Academic Press, San Diego.

英文原著論文

Foster, G.W., Humphrey, S.R. and Humphrey, P.P. 1978. Survival rate of young south-easternbrown bats, *Myotis austroriparius*, in Florida. *Journal of Mammalogy* 59 : 299-304.

オンラインで公開・提供された著作物

Wu, J., Kohno, N., Mano, S., Fukumoto, Y., Tanabe, H., Hasegawa, M., Yonezawa, T. 2015. Phylogeographic and demographic analysis of the Asian black bear (*Ursus thibetanus*) based on mitochondrial DNA. *Plos One* 10 (9) : e0136398. DOI : 10.1371/journal.pone.0136398

東京都板橋区. 2009. 板橋区昆虫類等実態調査報告書 (IV). <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kankyo/hakusho/1005946.html>

鈴木 茂. 2021. 日本列島の甲虫全種目録. <https://japanesebeetles.jimdofree.com>

Colwell, R.K. 2019. EstimateS. 9.1.0. <http://purl.oclc.org/estimates>

10. 投稿原稿のうち原著論文, 短報, 総説の採否は編集委員会で選任した2名以上の査読者による審査結果に基づいて編集委員会で決定する. 資料, 紹介, 書評等の採否は編集委員会で決定する.
11. 校正は初校のみ著者が行い, 再校以後は編集委員が行う.
12. 図版の修正, やり直し, カラー製版の費用は著者に請求することができる.
13. 別刷は50部を単位として有償で購入できる. 別刷の価格は事務局が定める価格表による. また著者は, PDFを有償で購入し, 著作権法で定める範囲で配布できる. PDFの価格は5ページまでは1ページにつき1000円, 5ページ以上は一律1件5,000円とする.
14. 著作権は森林野生動物研究会に所属する.

15. 投稿規定の改定は編集委員会で決定する.

(2023年3月25日改定)

原稿の送付先：

編集委員長 松本和馬

E-mail : anb44071@nifty.com